

執筆者一覧（掲載順）

三本松 政之	コミュニティ福祉学会運営委員長／コミュニティ福祉学部学部長
土屋 ゆかり	コミュニティ福祉学科 2003 年卒業
砂井 智光	コミュニティ福祉学科 2005 年卒業
八重樫 温代	コミュニティ政策学科 2011 年卒業
長谷 直樹	スポーツウエルネス学科 2012 年卒業
木下 一雄	名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科専任講師／コミュニティ福祉学科 2004 年卒業
木村 駿介	コミュニティ福祉学研究科博士課程後期課程在学中
矢野 康介	コミュニティ福祉学研究科博士課程後期課程在学中
大石 和男	スポーツウエルネス学科教授
後藤 広史	福祉学科准教授
中村 大輔	スポーツウエルネス学科特任准教授
三宅 雄大	福祉学科助教
伊勢川 真由	コミュニティ政策学科在学中
河東 仁	コミュニティ政策学科教授
権 安理	コミュニティ政策学科准教授
佐野 信子	スポーツウエルネス学科教授
長倉 真寿美	福祉学科教授
沼澤 秀雄	スポーツウエルネス学科教授
富田 文子	埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科助教／元福祉学科助教
檜府 憲太	ふじみ野市役所障がい福祉課／コミュニティ福祉学科 2005 年卒業
大木 彩	NPO 法人早川エコファーム／スポーツウエルネス学科 2015 年卒業
富吉 貴浩	コミュニティ福祉学科 2003 年卒業

立教大学コミュニティ福祉学会

編集委員会

長倉 真寿美（編集委員長） 齊藤 知洋（副編集委員長） 三宅 雄大

事務局

権 安理（事務局長） 大野 有加（事務局） 海老原 絵梨子（事務局）

■編集後記■

●今回の号は残念ながら、エントリーなさった方々の執筆辞退が多く、ご協力下さった先生方、卒業生、在学生のお陰で何とか発行にこぎ着けました。「まなびあい」の意義についてももう一度考える時期に来ていると思います。皆様のより一層のご理解、ご協力を賜れましたら幸いです。

(編集委員長 長倉 真寿美)

●編集委員は2年目ですが、今年は副編集委員長を務めさせて頂きました。通常の学会誌と異なり、「まなびあい」は教員(研究者)や学生、卒業生(修了生)など幅広い人々の大変興味深い論考が収録されているのが特徴です。今回も福祉現場での実践や課題、そして執筆者の方々が普段、福祉について感じていることが数多く記されています。今後とも、「まなびあい」を通じた活発な議論と本誌のさらなる発展にご協力頂きますよう、どうぞよろしくお願い致します

(副編集委員長 斉藤 知洋)

●多様な参加者(在学生、卒業生、教員等)が、それぞれの学びを発信する媒体=「まなびあい」。このような媒体があること自体、新任教員の私にとっては、とても新鮮なものでした。とりわけ、在学生にとって「まなびあい」の存在は、自らの学びの成果を発信(公開)する貴重な機会になっていると考えます。このような媒体=機会の編集作業に携わることができたことは自身にとっても貴重な経験でした。今後、いま以上に多くの多様な人たちが「まなびあい」に参加されることを期待しております。

(編集委員 三宅 雄大)

立教大学コミュニティ福祉学会『まなびあい』第12号

2019年10月31日発行

発行者 三本松 政之

編集者 長倉 真寿美

発行所 立教大学コミュニティ福祉学会運営委員会事務局

〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26

TEL. 048-471-7308

印刷所 東銀座印刷出版株式会社